

【今庄宿PJ】第2回全体会・店舗部会とりまとめ

全体意見

- ◆部会間の連携が重要！（特に、誘客部会）
- ◆今庄宿の生活文化に根ざしていることが重要
- ◆体験型・滞在型の施設が少ない
- ◆展示・ギャラリーもほしい
- ◆点（店舗）をつないでサービスを提供
- ◆コミュニティプラザも必要



とにかく、成功事例をつくる！

《理念》

- 今あるものを活かす
- ありのままを活かす

《他部会と連携しよう！》

- 誘客部会：売り込み、PR意識
- 空家部会：空家利用の協力確認
- 景観部会：店舗外観・全体の統一感
屋号の店名復活
- 景観・空家部会：ゾーニング意識

《周知》

- 事業に対する地域の方の意見を聞く



今庄宿プロジェクトで絶対に実践したい取り組み、その具体的な内容

《憩いの場》

- ふらっと立ち寄れるお店
- メインストリート沿いの食べ物屋（ランチ）
- 木ノ芽に続くカフェ、憩いの場
- オープンカフェ
- 店頭の休憩所（間伐材を利用したベンチ等）

《多店舗連携》

- 食べる・飲むが連携したサービス提供
- 造り酒屋と旅館・料理屋の連携
- 食べ物のコラボ（そば、茶飯等）
- 食と展示のコラボ
- 古民家でおもてなし
- 共同で商品開発

《町民・お客さんが利用》

- 現在ある各店舗⇒住民も観光客も入りやすい・利用しやすいお店にする
- 住民と訪問客が交わる場所をつくる

《展示》

- ギャラリー、販売にこだわらない作品展示

《体験》

- 街道に体験型の施設をつくる（そば、つるし柿等の利用）

《多機能店舗》

- 各店舗に他の機能を+α
- 多機能型の店舗づくり（食べる、買う、泊まる、展示等）

《商品開発》

- 宿場料理を造る（箱膳）
- 歴史的な商品・サービスの復活（歴史部会との連携）

《新企画》

- 朝市、夕市の開催
- まちなか市場の開催

《具体店舗》

- D51の駅前移設
- エフエフを利用した鉄道ギャラリー（街道ロマンで鉄道展示）
- 昭和会館の活用

《既存店舗の応援》

- 既存店舗の連携、パワーアップ
- 日曜日もお店を開ける

《仕事場》

- 新規移住者の仕事場も兼ねた新規店舗

《その他》

- 町内他地区との連携（田倉の農、河野の漁、南条の工芸、湯尾とのつながり）
- 空き家を利用したモデル住宅をつくる

来年度に向けて、自分たちが楽しみながら、今年度中に取り組みでみたいこと、その具体的な内容

《マップづくり》

- 店舗マップの作成
- 住民へのアンケート「お気に入りのポイント ベスト10」⇒マップに反映する

《看板づくり》

- ご案内処の看板（「タッピー」入りのラミネート板で）
- 「お気軽に声をお掛けください」の看板

《ベンチづくり》

- 誰でも一服できるベンチを設置する
- テーブルや椅子を古い建物の前に置く

《体験》

- そば打ちの指導

《商品開発》

- まちあるきにテイクアウトできる商品開発⇒町民向けチラシの作成
- B級グルメの開発

《イベントの仕掛け》

- 「食」系のお店から持ち寄って食事会（バーベキューなど）